

<芦北町・津奈木町／住民>

日 時：令和2年10月16日（金）15時20分～16時35分

会 場：芦北町地域資源活用総合交流促進施設

参加者：26名

※録音状態が悪く、聞き取れなかった箇所が複数あります。

【発言者①】

私は球磨川流域にあります、写真には載ってないんですけど、白石地区の下流にあります簸瀬地区というところの〇〇と申します。よろしく願いいたします。

うちは残念ながら、ここでは1名の死亡者が出ました。救急的には防災の方で何とか活動しましたが1名だけが助からず、それだけが心残りで、何とか緊急避難のときに（聞き取れず）しました。で、これだけが私のところの地域にも土砂崩れがっております。

このちょっと今まで説明がありましたけれども、簸瀬地区はほとんど佐敷に入りません。うちの方もまず最初に要望したのは、幹線道路の復旧で、県議の先生にお願いして、とにかく幹線道路をどうにかしてくれと、孤立状態ですと。それでも（聞き取れず）地域ではどういう形をとったかという、孤立状態なもんですから、3日目に私のところだけしまして全員避難をしようというかたちで呼びかけをしまして、動きました。

（聞き取れず）今後のそれより、そういうかたちでつないで避難したということです。（聞き取れず）それでも残念ながら4世帯の方が転居されました。

様子を見ながら地域発展のために、地域のためにとって書いてあることでしようけれども、今私が思っているのは、誰も（聞き取れず）しないように様子を見ながらやっていきたいというふうに思っています。ただし、お願いとしては、とにかく道路の確保が大事なところな部分なので、お願いいたします。このように思っています。

【発言者②】

はい、私は田川地区の〇〇でございます。よろしく願いいたします。

今回の豪雨で、顕在化した河川の脆弱さ、そして、急傾斜地の（聞き取れず）につきまして、御支援してほしいと思います。

自然豊かな芦北の暮らしが、たった一夜の大雨で日常は一変したと。御案内のとおり、最近の災害というのは頻発化しておりますし、大規模化、多発化してご

ざいます。

したがって私達のところも、いつ起きてもおかしくない、そういう状態のもとにあるんじゃないかというふうに思います。したがって災害の復興の中から、私達の地域の暮らしも考えないといけないと思います。

繰り返される災害で、人の命あるいは暮らしが脅かされるそういう社会であってはならないというふうに強く思うところであります。

今回私は災害の惨状を見たんですね。防災・減災化の方向性を示していただけたらというふうに思います。

例えば河川、毛細管状の、溪流から多くの雨水あるいは土砂を河川に流し込んでたわけですけれども、やっぱり許容量を超えているんです。まさに河道としての役割を果たしていない。昔は十分にそれでよかったと思う。しかし、今はとてもじゃないですけれども、厳しいのではないかと。河道の能力的には容量が低いんじゃないかというふうに思います。おそらく大きな川が、私達にはよくわかりませんが、私達の町の小さな川でもそういう状態が今回のような大きな災害を引き起こすというのは事実です。一方、急傾斜地でありますから、この芦北町中山間地警戒区域あるいは特別警戒区域、改めて（聞き取れず）指定いただいて、1, 100カ所位ある。

全体を見ますと、比較的低い、あるいはそもそも切り立った山ではないわけですが、大規模な土砂崩れが起きている。

専門家の話によりますと、深層崩壊と言われておりますけれども、この大雨にやはり耐えられない。そういう私達の地域で、今まで経験をしたことがないような土砂災害でありました。

極めて残念なことでありますが、尊い人命3名が亡くなりました。

どうか皆さん、御認識いただきまして、行政あるいは私達住民もそうなのですが、やっていく方向性という意味では、それぞれ自ずと見えてくるのではないかというふうに思います。

安心安全な暮らし、どうやってこれを（聞き取れず）していくか、まさに基本的にはできないというふうに思っておりますので、今日知事お見えになっておりますのでよろしく願いいたします。

【発言者③】

小田浦2地区の〇〇でございます。7月4日の豪雨から早くも3か月が過ぎましたが、今回の豪雨で被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

私の地区では、人的被害、家屋の被害というのはありませんでしたが、広域農道の大規模の土砂崩れや道路の横の土砂崩れによる通行不能、農道の崩壊や田畑への土砂による流入被害がありました。また宮浦川が氾濫し、選果場が土砂流

入し、宮原線が川みたいな状態になり、隣の田浦地帯、田浦駅付近まで流れ込み、（聞き取れず）辺りまで冠水し、多くの家屋が床上浸水し、国道3号も（聞き取れず）でございました。

当時、東海カーボンも浸水し、火災が発生。電気が停電して、堆積土砂がでました。

また、満潮時と重なり、排水できない状態になっていました。

今回、このような災害が起きたのは宮浦川が排水できない状態となったこと。土砂撤去を含め必要と思います。この地区では、い草、竹やゴミの収集等もしていますが、土砂撤去は無理であり、ぜひ皆様方からの回収をお願いします。よろしくをお願いします。

【発言者④】

市居原地区の〇〇と申します。市居原地区では、球磨川流域の吉尾川に沿った集落で17世帯が住んでいます。今度の水害で孤立し3分の2が全壊・半壊の被害が出ており、道路の寸断等で孤立してしまいました。

そして、既に4世帯の方が集落を移すことになりました。吉尾地区は、（聞き取れず）に孤立された（聞き取れず）と（聞き取れず）3つが写真が載っているんですけども、道路の工法が球磨川、人吉・八代方面それと佐敷、田浦の方面と4つの方向に通った、それは全て離合することが困難な道路ばかりです。

そういった状況ですので毎年、水害が大雨の時に発生して困難な道でした。また、道路と並行して沢が流れていて、今度の水害で大きな被害が発生しました。

復興を目指すにあたり、今まで繰り返されてきた現状どおりの改修では、また繰り返すと思います。熊本県に、再び、元に戻すだけじゃなく、創造的な復興を目指すこと。これが一番大事だと思います。というのは、同じこと何度も何度も繰り返してきた。そして同じことを同じ災害が起きているということですね。それを防ぐにはやっぱり発想を転換して全く違った方向でやっていただきたいと思います。

例えば、私ども吉尾の方で言いますと、吉尾橋ずっと球磨川から橋がなくなりました。我々、吉尾の人間として吉尾大橋をずっとお願いして（聞き取れず）おっしゃってきておられて、それをどうしても決断して、それから佐敷、いろんな（聞き取れず）もそうですけれども、こういった大きな道をしていただいて、芦北町、佐敷町、吉尾地域にしてもらいたい。

いわゆる今は、芦北町吉尾というところ、佐敷町吉尾というところにあつたものですから。

そして小学校の友達が吉尾か佐敷の学校に通ってくるんだけれども、そうなった場合にやっぱり安全なところ、復旧が必要になってきます。もし、この道路

がきちんとなったら佐敷町吉尾ということで大きく地域にも波及してくると思います。

特に、今後コロナによって、新しい生活が見いだされてくると思います。みんなが、そして強くって自分達の力で生活しておられますので、そういうことを見据えて組織の発展のために、まず道路ネットワークが必要だと思っておりますのでそこをよろしく願いしたいと思っております。

【発言者⑤】

吉尾地区の〇〇です。今、一番の〇〇と4番の〇〇と同じところを希望ですので、道路の整備を一番にしてもらいたいということを思います。往来するのにも時間がかかってますので、道路の整備をお願いします。

【発言者⑥】

こんにちは。今回、知事と直接こうやってお会いができて感謝を申し上げます。それで、せっかくの機会でございますので、災害復旧についてのお願いを申し上げます。今回、この地区では山腹崩壊で、多数の尊い人命の被害が出ております。災害ということにおかれましては、一日も早い災害復旧工事をして、安心して住めるところにさせていただきますようお願いいたします。

そこで、うちの所は広域農道のところの災害復旧についてであります。災害復旧の工事に当たりましては、吉尾地区と同様、現状復旧のような考え方で、繰り返して欲しくないということで、まずは人命優先ということを念頭に復旧工事していただきたい。

それから、現在、砂防の方は山腹工事でございますが、反対住民の（聞き取れず）だけではなくて、全体的なところの、末端まで水道まで含まれたところだと思います。よろしく申し上げます。

【発言者⑦】

海浦1地区の〇〇です。冒頭お願いをしたいと思っておりますが、芦北町で災害危険度マップは作成されておりますけれども、地域の方々は非常にタメになるマップでございます。

が、ただ現実としてあるだけということで、地域の住民の方は、6つのマップを見て「どうすればいいのかな」ということで、災害が起こるまでに何もできないというような現状でございますので、災害危険度が高いところから、対策をとっていただければなという地域からの要望でございます。

また、海浦には河川が3本、中にございましたけれども、これも国道3号線のワタリのような線でございます、見てみますと上流より下流の方が、幅が狭い。

特に、平野部になった時に川幅が狭くなっている。土石流がそこで全部、堆積してしまうという被害が起きております。私が〇〇を務めてた期間中にです。3回浸水を受けている。ということで、これは国交省との関わりがございまして、県の方からそのようなことを提案していただければ協力しなければと思います。

また、私達は瀧ノ上地区というところがありますが、そこが非常に土砂崩れで大被害を受けております。私も被害があったということを聞いたときには寒気がしました。8軒が土砂で埋まったという報告がありまして、住んでいるのは10軒しかないんです。

そこで、その方達はどうだったのかなと思ったら、災害が起きる前に全員が避難させてる。その避難の方法も瀧ノ上に入りが土砂崩れで通れない。急遽、現場で家庭からチェーンソーを持ってきて、木を切ってやっと抜け出したということで、道が一本しかないんですよ。できましたら、避難道じゃなくて、もう一本できればなと思っております。これは、仮設住宅に伺いまして住民の方々からの要望でございまして。

それと、町道にかかる（聞き取れず）できましたら災害の時、危険を（聞き取れず）擁壁を作っていたいただきたい。それについては、こっちがいくらでもやりやすから、無償でやったら道路の擁壁を作りたかったという強い要望がございまして。そういうことで安心して住める地域を作っていたいただきたいという要望でございまして。

また、県に直接要望をするんじゃなくて、私は、以上のことを詳細につきましては、地区内あるいは報告前に上記計画を申し上げます。今日から、県には聞き取っていただいて、早急な対応をお願いしたいと思います。終わります。

【発言者⑧】

私は、佐敷エリアを中心とした地域の〇〇でございまして。今回の豪雨によりまして、300ha、住宅から約7割が床上浸水という被害を受けました。

しかし、災害当日からボランティアの方々、あるいは休日を返上して職務に当たられた役場職員の方々にお礼を申し上げたいと思います。

復旧作業に入りましたけれども、何しろ工事を請け負う請負業者の方々が少ないので、何軒も重ねて掛け持ちで仕事を受け持っておるというのが現状です。生活をするスペースだけを終了して、あとはまた、他のところに行って今年中にできあがるだろうかというような感じでありました。

中にはまだ、手付かずの住宅もあります。そういうようなことで早急に応援を進めていただいているわけですがけれども、まだまだ道のりは遠いというふうに思います。それと、商工業の方々の話を聞きますと、なにしろ補助金申請にも書類が煩雑（聞き取れず）してあると、もうこういうような申請はもうやめとこう

ということで、やめられた方々もいらっしゃいます。

そういうところについては特に、災害における方々の身になって、県の方でもできるだけ、事務の簡素化をお願いします。

今回の豪雨によりまして、佐敷川の氾濫がありまして一番下流に私どもはあるわけです。川の流れが全く危険（聞き取れず）しました。今までの流れているところは全部土砂に流れて、そして流れが全く逆の方向にいきます。というようなところでございます。

ぜひ、県には膨大な予算が復旧復興にかかりますが、できるだけ土砂の撤去をぜひお願いをしたいと思えます。

10数年前に一度、（聞き取れず）の方をお願いをいたしましたけれども、県の管理河川であるというようなことから実現できませんでした。今回はそれを数倍上回る土砂が流入をしております。是非、その点についてはお願いをしたいということであります。

なお、今回の豪雨被害によりまして、球磨川流域にはとても甚大な被害が出ました。検証してみると、さっきありましたように、川辺川ダムがありますと6割くらいが救えたんじゃないかというような話が先ほどありました。

国が予想しました雨量以上の、大量の降水量となりました。水害対策、私達も球磨川沿岸の吉尾地区で生まれましたけれども、その数倍を超える量じゃないかというふうに思えます。その当時も、孤立をいたしまして、（聞き取れず）自衛隊のヘリで災害救助を受けたわけです。

今回も全く同じような状況であります。

しかし、例えば川辺川ダムが仮にあったとしても今回の災害は防げなかったんじゃないかというふうに思えます。仮に、ダム建設の方向に向かうとして、沿岸住民を二分し、再び対立し分かれるんじゃないかということを懸念しております。

自然破壊につながるダムによる水害対策じゃなくて、自然を守り、未来に自然を残し、球磨川の清流を残すような、世界に誇れる水害対策をぜひお願いをしたいというふうに思えます。

【発言者⑨】

旧佐敷商店街のところの（聞き取れず）。球磨川流域と私達の地区も関連性はありませぬので、私達地区に関して限定して申し上げたいと思えます。

私の地区は佐敷川の天月川に流れる、災害の時には夜中の3時頃から川が氾濫したため、地域のほとんどが1mから1m半くらい水没しました。

上流の方から真っすぐ流れている川は90度のすごい勢いで堤防は決壊し、道路も崩れてしまいました。

また、川にたくさんの土砂が堆積してしまして、住民の方も大変不安がっておられます。防災対策のとんだところの修復を早急をお願いしたいと思います。

私は、〇〇を営んでいますが、やっぱりお店が水没しまして、仕事の機械は全てダメになりました。その当時はもう再建は難しいと考えていましたけれども、そうした中、なりわい補助金の話聞きまして、本当にありがたく思っております。一日も早く復旧し、これから地元の皆様のために少しでもお役に立ちたいと思っております。

今その手続きの最中でありまして、なかなか手続きが複雑で、もう少し簡単にならないかと思っております。よろしくをお願いしたいと思います。

そして、私達の地区も高齢化で過疎化が進み、今回の災害ですます空き地が増えることを心配しておりますが、解体ができるということで大変うれしく思っております。しかし、解体された後は、その後どうなるかということも心配しております。これからのまちづくりのことも、いろいろと何かできることがあればと思っております。

最後になりますが、今後も今回のような、思うようにならない災害が起こりうると思しますので、被害を最小限にとどめる対策と、被災者への最大の支援をお願いしたいと思います。

今回の災害にあたり、たくさんのボランティアの人達が入っていただきました。ボランティアの人達の力がなかったら、今の現状まで復旧してなかったんじゃないだろうかと思います。本当にありがたく思っております。

私達も大変な思いをしましたが、町長さんをはじめ、いろいろ皆様の初めての経験の中で、一生懸命に業務に当たられ、御苦勞をなされたことだろうと思いません。

今後も町の発展のために頑張っていたきたいと思います。

【発言者⑩】

女島西地区の〇〇といいます。

私の地区も土砂災害が起きまして、今この地図に載っておりますけれども、一番女島西地区は一番手前の土砂災害で、（聞き取れず）が亡くなりました。

この時は、国も急傾斜が、土砂災害が、私達も急傾斜を見て、住み続けるしかない、受け入れるしかないな、というような感じを受けたわけですが、その時は、本当に普通の豪雨と違ってものすごい集中豪雨で、こういう時は事前に避難をすることが必要だと思いました。

そして、もう一つ地方に長い間おりますけれども、この前、県の人に聞きまして、ここに砂防ダムができるという話をちょっと聞きました。ここに、この地域の給水施設が10トンぐらい下げて、雨水タンクがありまして、それを合わせて。

ダムがあったところが特に砂防ダムができるという、とにかく、県の人達（聞き取れず）がこれを使用する関係でこれを残してほしいということで、これを砂防ができたら給水ができないということで、この地区でも、町の貯水槽と（聞き取れず）水が全部落ちていくということで、この水はどうにかしないといけない。

だから、これをちょっとお願いしたいんですけどもまだ、まだ場所的には国で決めるときでもここに移設しないと聞きました。できるだけ、私どもの地区としましては、（聞き取れず）補助がいただけるということで、補助じゃなくて、一緒にこの砂防、（聞き取れず）水道というのが地域住民の要望でございました。

結局、砂防ができるとしたら、貯水するところは、2つダムができてそれで貯水して、それぐらいの中を送るわけですけども、その給水施設が砂防に入ってしまうということで、どうしても補助を得ても我々ではどうすることもできないんじゃないかなということ、今日は地域の人から要望されておりました。

それと、今度女島西地区というのは、海がありまして、その中に堤防がありません。堤防があつて、（聞き取れず）は土砂崩れがあつて、3か所ぐらい土砂崩れがありまして、それから全部で田んぼに入って、入ったら今度は（聞き取れず）に入りました。水門が開かないもんですから、大体ここで、地区の方で2mぐらいの砂地の（聞き取れず）排水ポンプを設置してあるんですけども、これではもう間に合いきらずに、ちょうど大潮の時だったかな、ですので水門が開かないもんですから、どうして2m以上の（聞き取れず）ということで、それで自衛隊の方にも入ってもらって、ボートで救出をしてもらったというようなことで。

しかし、私も町道に関しましては町の建設課の方をお願いしました。ありがとうございました。まだまだ土砂がいっぱいあつて、普通は復旧しないのですけれども一応別の、振興局をお願いなんですけど、まだそれはできてませんので、広域農道（聞き取れず）してもらおうと土砂の撤去ということで、とにかく前にそれをやってほしいということは私達の要望でございます。

もう一つ、一番下の方に、まだ大きな土砂崩れがありますけれども、そこに一軒だけ家が被害があるんですが、ここは昔から水害があるところで、そこに関しては、ダムの話は聞いてはおりませんが、女島地区に関して、砂防の関係で山に入らせてくれということで、連絡を取りましたけれども、特に何ができるのかは、それでも堆積土砂と思うんです。

どこにどういう（聞き取れず）できるのか、私どもは川下の方にも付けてほしいというのが要望なんですけど、それについては（聞き取れず）ということもあつて、まだその住民の方々も意見は聞いていません。手前の砂防ができるという、もうちょっとその下にはおりきらんというようなことも言われた人がおられますので。

今、仮設住宅ができて、ここに女島の10軒ほどが入っておられまして、もういろんなことで言われてますもんですから、私どもとしても、町外に出ていられるよりはここに残ってほしいという思いでいっぱいです。中にはよそにと言われる方達もいらっしゃいますし、できるだけ地区の過疎化にならんようにと思っております。

もう一つ要望としましては、作ってもらえたらという気持ちからの要望がありますが、それは町の方に要望しないとと思っておりますが、まだまだいろんな仕事が残ってますから。とりあえずその砂防ダムというのがいつできあがるのか、それをはっきり聞かないと、いつから始まっていつ終わるのか聞かないと住民の方々も落ち着かないんじゃないかなと思います。

できるだけ、砂防ダムもピシャっとしていただきたいと思っております。以上です。

【発言者⑪】

私は湯北の〇〇です。蒲島知事におかれましては、今回の豪雨災害対応、お世話になっております。しかし、これからがもっと大変でございますが、県民のためにどうぞよろしく願いいたします。

この災害対応に多くの県の職員の方を御派遣いただき深く感謝申し上げますとともに今回、芦北町が復旧復興推進室を設置するにあたり、限られた職員の中から2名の方を長期にわたって派遣いただいておりますことに重ねて感謝申し上げます。

このことによりまして、今回の復旧復興は、熊本県とともにあるんだという一体感が生まれ、我々としては心強い限りでございます。どうぞよろしく願いいたします。

それではこのような素晴らしい機会をいただきましたので2点意見を述べさせていただきます。

一つ目は、芦北町におきましては、竹崎町長が町長就任当初から、人に優しい政治、全ては子ども達のために、を基本理念として、このことに対峙してまいりました。県におかれましては、今回の復旧復興に対しましては、公共、個人、ハードソフト問わず、このような理念をもって対応していただくことを願います。

災害復旧は、原則、原型復旧ではありますが、その中に可能な限りそのようなことで対応しなければと思います。この案件は、この条例には該当しない、もしくはそこに満たさないからダメだとそういうことではなくて、どうか全ての手だてはないのか、何か規則にあう方法はないのか、といった温かい心をもって復旧復興に当たられることを願います。

地域のことは、地域住民が一番よく知っています。地域の住民の意見をよく聞いていただきたいと願います。被災者は芦北町の姿を（聞き取れず）。よろしく

お願いいたします。

二点目でございますが、このことは今日のこの会では馴染まないかもしれませんが、あえて述べさせていただきます。

県の職員の方も芦北町職員の方も今回の豪雨災害に対して、多くの職員の方が多忙を極め、まで復旧、災害対応に当たっていました。中には、自宅の被害も顧みず対応した職員の方がおられました。私は、役場に（聞き取れず）。

そういった場合に、全国一律に先般、人事院勧告がなされました。勧告は全国一律ですから、仕方がありませんが、このコロナ禍で一生懸命、災害対応に当たっていただいた職員の皆様方に対し、不安だけれども対応は、どうすればよいのか、公務員の方、仕方がない、そうかもしれませんが、しかしどうぞ温かい勧告となりますようお願いしております。

【発言者⑫】

はい。〇〇でございます。行政区は二つあって、一つは海岸の海拔、（聞き取れず）でございます。

私達の唯一の養殖場でございます。当日は午前2時ごろには、0メートル、水位が危険水位に達しまして地域の皆さんいろいろありました。危険水位になりました、避難してくださいということで、町の建設課にも危険水位になりましたよと言っても、中に（聞き取れず）地域の見守りがあります。こういうところで、地域の安全を守るというのが行われております。

これから先は、計石東地区では、IT企業がございまして。町が誘致した企業です。それと（聞き取れず）一体となって防災の取組みとこののをやっております。地域住民と一緒に防災作りをやっております。防災のランプとか小型受信機に赤外線カメラをつけて、常時人を、無線とか携帯とか映像を見るような仕組みを作ろうということで今やっております。

見守りについても、高齢者の方々には、一人暮らしの方には SOS ボタンを配布しまして、SOS ボタンを押せば区長とか民生委員が、すぐ誰の SOS かわかって、流れる仕組みをつくっています。町の支援をいただいて、こういう仕組みをつくっていかうこののを始めました。

私達はやはり生活一般についても、こういう IT 関係の取組み、防災の仕組みを構築していく必要があると思います。今度、地域では、取り決めをしました。特に、電話が不通となり、連絡がとれない時間がありました。

また、孤立された地域に対しましても道路の復旧につきましては、最初の道路の復旧の安全性、将来を見据えた改良復旧をお願いしたいと思います。今回の豪雨により土砂災害が発生しまして、尊い人命が失われて一日も早い対応できますようお願いしたいと思います。

また、災害に関しても災害の見直しとハザードマップの変更が必要だと思います。私達は、地域住民にも（聞き取れず）。今回の豪雨災害によって全半壊被害者の（聞き取れず）変更を余儀なくされまして、それから、生活再建、住まいの再建に取り組んでいくということになります。これに対しまして新たな宅地造成、後方支援に対しまして、是非支援をお願いをいたしたいと思います。

今、私達が住んでいます地域は、いろんな湯浦川、佐敷川の唯一の合流地点になっています。三角地のところに土砂（聞き取れず）雨が降って流れるたびに、川に流され海の方に流され、長期間に（聞き取れず）されますと影響があるんじゃないかと心配がございます

防災、復興復旧につきましては、やはり地域と町と国、県が一体となることが大切になりますので、どうかよろしくお願いします。

【発言者⑬】

消防団の〇〇です。この度の豪雨災害で犠牲になられた方々、被災された方々にお見舞いを申し上げます。蒲島知事におかれましては、このような会を開催していただき感謝申し上げます。

7月豪雨に対し、私なりに体験、感じたことを少しだけお話ししたいと思いません。

7月4日の豪雨発生時、町全体が（聞き取れず）。私自身も当日、球磨川の道路が崩壊していたので（聞き取れず）JR線路上を使って、肥薩線の線路（聞き取れず）。その災害状況の甚大でこれまで経験したことがないような（聞き取れず）、球磨川の治水の取り組みも（聞き取れず）。

この間の私どもの消防団におきましては、豪雨に対しましては、被害者支援、物資の配布や（聞き取れず）、より安全な場所へ早め早めの避難が何よりも大事でありますことを改めて気付いた次第であります。

今後も芦北町消防団として、竹崎町長の御指導のもと、町民の皆様の安全安心を最優先に活動を続けてまいります。

【発言者⑭】

田浦地区の〇〇と申します。私は柑橘を栽培しながら市場に出せない農作物を購入し、加工し付加価値をつけるといったコミュニティビジネスを行っております。

蒲島知事におかれましては、日々のコロナウイルスの対応、7月の豪雨災害に県民のために尽力いただき誠にありがとうございます。

熊本県のホームページを拝見いたしますと、（聞き取れず）被災地直売所・農産物販路確保緊急支援事業という補助金があるのを見つけました。この事業の

目的といたしまして、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、令和2年7月豪雨災害で被災した直売所等の売り上げ減少の影響を最小限化し、出品した（聞き取れず）するため移動販売や通販サイト、PCサイトを活用した県産品の販売におかれる企画、提案を（聞き取れず）優れた提案をした事業者の取組みを実施するという補助金です。物産館やそこに委託する生産者や（聞き取れず）としては、すごくありがたいことだと思っております。

知事も御存知かと思いますが、芦北では（聞き取れず）佐敷線や夕焼けや海があって、柑橘・果物、野菜、肉、魚、お茶、そして温泉、宿泊施設、全国でも少ないリゾート地ということだと思えます。

こういったECサイトで購入した方は、実際に行ってみて行動したいという方もいらっしゃると思います。こういったお土産とかの購入は、私もそうなんですけれども、やはり道の駅や（聞きとれず）でも売り上げ増加が必要だと思います。というところだと、道の駅、物産館というのは街の顔ということだと私は感じているところです。

こういった街の顔である物産館や道の駅というのは、復旧ではまだまだこういう情報を聞いておりますので、県からも施設の復旧にお力添えをいただければと思います。よろしく願いいたします。

【発言者⑮】

佐敷地区に住んでおります〇〇でございます。

主人が、（聞き取れず）熊本地震、コロナ（聞き取れず）

次に（聞き取れず）、住民の方々（聞き取れず）声掛け（聞き取れず）したのですが、（聞き取れず）そうです。佐敷小学校が浸水して（聞き取れず）。特に今回、球磨川水系でない（聞き取れず）佐敷川・湯浦川（聞き取れず）。毎日（聞き取れず）土砂撤去。

佐敷川・湯浦川、是非、自然豊かな（聞き取れず）町を思いながら（聞き取れず）復旧をよろしく願います。（聞き取れず）御支援いただいて本当にありがとうございます。

【発言者⑯】

自分達は（聞き取れず）誠にありがとうございます。私は自然の町並みを（聞き取れず）しておりまして、（聞き取れず）自然に触れ合う町歩きの取組みをやっているんですけども、その一環として今コロナ対策ということで、自然と触れ合う交流ということで、実は芦北町と美里町と2つでフットパス（聞き取れず）の、町から（聞き取れず）だったんですけども、水害があって芦北町は（聞き取れず）。（聞き取れず）南阿蘇の方に（聞き取れず）います。

実は今まであちこちから歩きに来た方が（聞き取れず）、何らかの形で支援することができない（聞き取れず）進めております。実は去年（聞き取れず）からもその団体の方からも（聞き取れず）是非使っていただきたいと（聞き取れず）。

実は今度おれんじ鉄道が復旧するというので、11月におれんじさんの（聞き取れず）を使って、（聞き取れず）ですけれども、11月14日に佐敷を、11月21日を（聞き取れず）、それと29日がさつま街道を歩くと、県と町と締結させていただきました。非常にありがたく、多数の方々から是非やりたいということをお願いしております。

ただし、コロナがあるものですから、何らかの形で、県の方も頑張って支援、非常に支援をいただいて、肥薩おれんじ鉄道の復旧（聞き取れず）思います。水俣の方は、八代の方も、日奈久も（聞き取れず）おれんじ鉄道でつながって、県南でまとまって、個人でやっていくより（聞き取れず）。これも善し悪し（聞き取れず）ですから、もしよければ、県の方も（聞き取れず）と思います。よろしく願いいたします。

【発言者⑰】

平国上の〇〇です。前回災害でこちらの地区から3名の方が亡くなりました。

そこで避難所が海岸の方にありますので、同じところから道が二本しかない（聞き取れず）。だからどちらの（聞き取れず）どこにも行けないというふうになって（聞き取れず）けれども、災害では水が増えて4時半ころにはもう道がなくて、そのあとに避難もしましたが、避難誘導しても連れて行く道路がなくて、今回道路の方を考えてもらいたいなということで参加させていただきました。

それで今回災害で犠牲になったところは、県の課長さん（聞き取れず）からの砂防ダムができるようになりましたからと報告に来てもらいまして、ありがたく思っております。

【発言者⑱】

平国下地区の〇〇と申します。今回（聞き取れず）。平国地区では（聞き取れず）。7月4日災害が発生し、多くの道路がふさがれた（聞き取れず）わざわざ（聞き取れず）。一人暮らしの人への（聞き取れず）安否確認ができる。（聞き取れず）

防災マップは出来ている（聞き取れず）説明会をしてもらえれば、（聞き取れず）。来年災害が起きれば（聞き取れず）。

できれば随時状況を含めて（聞き取れず）。

【発言者⑱】

皆さんこんにちは。(聞き取れず)ありがとうございます。(聞き取れず)いろんな意見が出されています。

(聞き取れず)その衝撃は私達の想像をはるかに超えるものでした。私も時間が無いものですから、2点だけ申し上げたいと思います。

今回の豪雨で、想像を絶する水俣海岸の復旧工事(聞き取れず)水の流れが(聞き取れず)。道路が川のようになり、住宅が(聞き取れず)。国道が山なり(聞き取れず)今は新しい県道が、山と山の(聞き取れず)新しい道路できる(聞き取れず)。(聞き取れず)に対応できず排水が間に合わず川になりました(聞き取れず)。

新しい道路(聞き取れず)、水害(聞き取れず)ありますが、また芦北振興局の土木の方は、排水ができないんですね。なんでかと言いますと、谷が多いものですから、1個所に集まるような(聞き取れず)。だから、(聞き取れず)します。

(聞き取れず)

でもやっぱり、(聞き取れず)ためには仕方ないと思っております。

(聞き取れず)

もうちょっと排水(聞き取れず)が流れるような排水をしてもらえたらなと思っております。第2に救急車(聞き取れず)たんですけれども、(聞き取れず)。

(聞き取れず)前向きに検討して復旧・復興(聞き取れず)。

【発言者⑳】

〇〇と申します。7月豪雨の復旧・復興に対して、本日はこのような場を設けていただき本当にありがとうございます。お礼申し上げます。

皆さんは御承知のとおり、今までの降水量と違って、ものすごい雨、やはり河川の全面的(聞き取れず)、私の家など水俣(聞き取れず)けれども、この農面道路の排水溝というかU字溝がものすごく小さいんですね。

幅が大きいところで50cmくらいある、小さいところは30cmくらいです。U字溝がないところがあります。L型コンクリを水路の代わりに使っているところもあります。

それで、U字溝があるのはいいんですけど、これを扱う集水桝、この構造を是非考えていただきたいと思えます。集水桝に上流から来た水を下流に流す、この排水路が高さが違う(聞き取れず)、直接この下流の排水溝に流れなくて、集水桝の中に(聞き取れず)道路が川状態になる。

(聞き取れず)道路の下に土管、あれを是非採用していただいて、私の家の前にも15度から25度の砂防があつて、そこに幅が90cm、深さが90cmの排水路が作つてある。それが上から下に水が全部なくなってしまって、水を全部、農

面道路の排水路が用をなさないために、私の前に、排水路を流れる水というよりは、道路を流れる水が多いのです。これをなんとか。農面道路なんかは、まずは集水柵の構造を考えていただきたいと思います。

お願いするばかりになります。私達も、毎年一回、地域に集まって、草刈り作業もありますので、それに合わせて、排水路の土砂（聞き取れず）していきたいなと思っております。これで終わります。

【発言者⑳】

津奈木町の消防団の〇〇と申します。先日は、大変、自衛隊、消防署それから警察官を派遣していただいて、大変ありがとうございました。私は内野地区というところに住んでおりますけれども、そこは約8ha分の耕作放棄地が進んで、地区にリーダーの方がいるんですが、（聞き取れず）中山間地域営農集落（聞き取れず）、この制度を活用して（聞き取れず）。

これが小さなダム役割を果たせたのかと（聞き取れず）、比較的土砂の流入のあった（聞き取れず）、大きな災害もなく、この制度をお願いして（聞き取れず）、着実としたものに、（聞き取れず）補助金の増額（聞き取れず）。地域の住民が思いっきりできるような、御指導と御協力をよかったらお願いしたいなと思っております。

【発言者㉑】

こんにちは、津奈木町女性消防団の〇〇と申します、よろしく申し上げます。災害の発生当初より、土砂のがれきの撤去作業、大変お世話になりました。また、各方面から支援物資等をいただき、ありがとうございました。

また県南の津奈木の、全壊で（聞き取れず）という方もいらっしゃいます。被災者の安全・安心を第一に、一人住まいの高齢者（聞き取れず）、スムーズに確保され、御入居された方も安心されたと思っております。ありがとうございました。

県道の崩壊もありました。今でも片側通行です。ほかにも（聞き取れず）、大雨で落下する可能性があります。通行止めになると（聞き取れず）もありますので、道路整備をどうぞよろしくお願い申し上げます。応援に来てくださった方に（聞き取れず）。ボランティアと一緒に（聞き取れず）した方々がいらっしゃいました。

身体障害者、高齢者における介助の方が少なく、（聞き取れず）が必要と思っておりました。それで、障害者の方も（聞き取れず）と思っているのです。ありがとうございます。

【発言者㉒】

こんにちは。私は津奈木町の元消防団なのですけれども、今日はよろしくお願

いします。

県道があるんですけど、カーブのところで魚釣りのおじさんとか、あそこでもしよかったら（聞きとれず）離合ができない（聞き取れず）。

それと、平国地区には、消防団が3つあります。その地区があまり開きませんですけども女性消防団が活躍しました。その（聞き取れず）が480を越えました。昨日、読売にありましたけれども、週刊誌がもらって、一生懸命にお花を造ったりしてもらいました。もし、他の地域にも共有、女性消防、地域消防（聞き取れず）、いろいろな活動に入っただけでもらえたならばいいかなと私は思います。毎日、どこ行っても女性消防団はあまり見かけません。消防団というのが応援の人があまりおりませんで、だけど、平国地区は女性の消防団員が一生懸命に今度は、いろいろなことに（聞き取れず）。（聞き取れず）町内の方々が入っただけならばなと思っております。以上です。

【発言者⑭】

〇〇でございます。27日間の平国下地区での被災者の一人であります。知事さんにおいでいただき、本当に7月の豪雨災害および被災者に対して、支援をいただき、本当にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

私の集落では三人もお亡くなりになりました。これは山の方から土石流となって（聞き取れず）。土石流というのは、以前は県の管理河川（聞き取れず）、津奈木町の（聞き取れず）。

しかし、小さな河川につきましてはまだ不十分なところがございます。最近では、山林の治山、ぜひ一つ、小さな山林のダムを、行政につくっていただけますと、大きな橋に流れるものではなくって、以後、浸水もなくなるのではないかというふうに思っております。ぜひこれから検討をお願い申し上げます。

もう一つは、芦北、津奈木、水俣、本当に（聞き取れず）でありまして、国内でも有数の産地（聞き取れず）。については、農地災害の復旧、自己負担というのがあります。この自己負担の比率があまり変わってないのです。非常に、他の点では対策が取られているが、農地は恩恵が受けられていない（聞き取れず）に関しては、普段の（聞き取れず）、対策がよけいに取られるというか、被災した人はあまり恩恵を受けないような気がする。熊本県から一つ、（聞き取れず）に対して、それを発信していただければ幸いに思っている。この二点をお願いしたいと思えます。

【発言者⑮】

こんにちは。津奈木町平国の〇〇です。よろしくお願い致します。家族は、私と統合失調症をもつ息子の二人です。7月4日早朝、災害に遭い、心も体も折れ

そんな思いで平国センターに避難し、お世話になっていたおりに、熊本の蒲島県知事さん、津奈木町の山田町長さん、他、スタッフの方々が訪問してくださいまして、しばしの間、膝をつきあわせて、私達に耳を傾けて、励ましの言葉をいただきまして、大変心強く思ったことでした。

このような方が、先日、連絡があり、今日のこの日に蒲島県知事さん、他、皆様方がお見えになる被災者の交流が行われると聞きまして、即座に出していただきたいと申しましたが、そのあと参加した人は一言ずつ話すようにと言われ、尻込みしたい気持ちでやまやまでしたが、あれから今日まで約3か月ちょっと、思い返すと国や県、町、また地域の皆さまのおかげさまで、今日の自分達があるのだと、感謝の気持ちでいっぱい、感謝せずにはいられませんでした。

また、地元の昇陽館に避難しているところに、7月18日、熊本の仁木病院の院長先生ほかスタッフの方々が来てくださって、心のケアをしてくださいました。まさにこれが地獄に仏とでも申しましょるか、心の底からふんわり包み込んでいただいた思いでした。息子も仁木先生の手に触れて、とても心が落ち着いたと申ししていました。

県や町にそこまで気遣っていただき、本当に、ありがとうございます。また、7月29日から、津奈木町丸岡団地に入居することができました。これからは少しでも住む恩返し、足元からでもできればと思っています。この度は本当にいろいろとありがとうございました。

【発言者②⑥】

皆さま大変お疲れの御様子ですが、芦北町の〇〇と申します。月曜日からこうしてはじめて、(聞き取れず)。残り、復興には大きな課題(聞き取れず)月2回(聞き取れず)川辺川ダムには限りなく慎重であるべきだとの立場で意見を述べさせていただきます。

また、みなさんの(聞き取れず)の熊本の(聞き取れず)を改めて読み返してみたのですけれども、とくに、芦北町で、強い雨が降っているのは間違いのないわけです。

午前3時から8時までのあいだ、一時間の雨量に50ミリの雨が降り続けていた。こういう状況が芦北町であったわけです。芦北町の中で何が起こっていたのか。吉尾地区の方も(聞き取れず)、よくわかっている方もいらっしゃいますけれども、線路の下に、冠水だった(聞き取れず)、これをあっさり抜いて、このように土砂が大量に(聞き取れず)。小さな川の土砂が、土石流が発生して、(聞き取れず)が球磨川の流れに沿って、芦北、球磨村の地域に(聞き取れず)。道路の復旧等は進んで、(聞き取れず)、どんどん無くなっていきます。球磨川流域の山々から、水ばかりでなく、どれだけの土砂が運ばれたのか、それもしか

り検証していただきたいと思います。

昨日のニュースで拝見しましたが、球磨川森林組合の方が、水を不知火海に流す、バイパス水路はどうだろうと。それは本当に球磨村と芦北町、反対側を流れる球磨川の堤防の（聞き取れず）。狭い川幅を流れる（聞き取れず）は、どうしても上流の水は、結局、芦北町、球磨村の（聞き取れず）。じゃあ今回は、森林に大雨が降った。そういうときには必ずしも、この芦北町球磨村の地域に、有効に働かない（聞き取れず）するのかは、私は疑問だと思います。

結局、それは流さないといけないのだから、球磨川で、芦北町の地域が、ダムを造っても（聞き取れず）じゃないかと思ってます。

続いて、瀬戸石ダムについて、一つだけエピソードを紹介させていただきます。これは今年のお正月に、皆さん御存知かと思いますが、冬場は石油ストーブは（聞き取れず）。今年の正月は天気もよくて、（聞き取れず）の時間を過御す。出来てから50年以上経ちますが、夏場は日本三大急流にあたる球磨川のハイライトが隠されて、（聞き取れず）おろすだけになっちゃいます。そろそろ本来の姿に戻してあげるべきでないかと思います。

もう一つです。皆さん、これは消防団の白石駅近くの（聞き取れず）。観察していただきたい。トンネル上部（聞き取れず）レンガが落石（聞き取れず）。

何を言いたいかと言いますと、ここまで芦北町地域の、芦北と球磨村の地盤は脆いので、（聞き取れず）。流域で砂防工事（聞き取れず）。コンクリートばかりになって（聞き取れず）芦北の（聞き取れず）自然の前には人間のできることには限りがあるので検討を（聞き取れず）。

最後に、肥薩線の早期復旧に向けて、県としてもできる限りの支援をお願い致します。（聞き取れず）生活の足としての使命は残念ながら終わっているのですが、球磨川は九州の観光（聞き取れず）なので、（聞き取れず）をやっていたらと思うのですけれども、御支援をよろしくお願いいたします。

（以 上）